



すべての労働者の処遇改善を目指そう！

—連合鳥取東部地協「2014春闘勝利総決起集会」を開催—

連合鳥取東部地域協議会は、3月7日(金)JR鳥取駅前風紋広場において、「2014春闘勝利総決起集会」を開催しました。集会には雪が降る悪天候のなか、組合員約800名が結集し、すべての労働者の処遇改善を求めました。

はじめに、山根議長が「大手組合の一部では、要求に近い金額を回答する見通しであると報じられている。これを追い風とし、景気の下支えと生活の安定を図るために、職場、地域の仲間、そして構成組織の結束のもと、「働くことを軸とする安心社会」の実現、そしてすべての労働者の処遇改善をめざし、全力で立ち向かっていこう」と結束を求めました。

次に連合鳥取五十嵐会長が、「輸出産業を中心に少しずつ景

気が回復しつつあるが、今後は消費税増税や物価上昇で生活への負担が大きくなる。そのためにも賃金引き上げが必要で、労働者全体の賃金引き上げがデフレ脱却と経済の好循環につながる」と今春闘の意義を訴えました。続いて、本集会にかけつけていただいた来賓を代表し、民主党鳥取県連坂野経三郎政調副会長から激励の挨拶をいただきました。

その後、産別を代表してJP労組因幡支部丹松治俊書記長が今春闘にかける決意表明を行うと共に、本集会のアピールを採択しました。最後に参加者全員で「月例賃金を上げろ」「格差社会を正そう」とシュプレヒコールを行い、春闘勝利を目指しました。



2014春闘方針について —連合鳥取東部地協「単組代表者会議」を開催—

2月14日(金)「白兔会館」にて、『連合鳥取東部地協 単組代表者会議』を開催しました。会議には、各産別から構成単組代表者約50名と、推薦・支持議員団5名の参加のもと、今次春闘方針の周知・徹底をはかりました。

はじめに、山根議長から「鳥取県東部地域の経済環境は厳しい状況が続いていますが、地域労働者の雇用と生活を守る運動として共通する運動課題を掲げ、全構成組織が参加する地域春闘を展開していかなければならない。今年も厳しい闘争が予想されるが、納得のいく結果となるよう全力で取り組もう」との決意が述べられました。

続いて連合鳥取吉田副事務局長から、すべての構成組織は月例賃金にこだわる闘いを進め、「底上げ・底支え」「格差是正」に全力をあげることに、非正規労働者の労働条件改善などを盛り込んだ「連合鳥取2014春季生活闘争方針」ならびに具体的な取り組みについて説明が行なわれ、参加者全員で理解を深めました。



《お知らせ》

◆第85回鳥取県中央メーデー大会は、4月27日(日)に開催！！ <今年の会場は久松公園です。>

※詳細が決定次第、ご案内します。

ただ今、「メーデー川柳」募集中！ 今年は「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」がテーマです。《〆切日：4月1日(火)》

「家庭の幸せ」「ゆとり」「豊かさ」の実現を！！